



CSR

REPORT 2025

さらなる地域深耕を進め、
新たな価値創造に挑戦する！

CONTENTS

I. 河内長野ガス概要	1
II. Top Message 社長メッセージ	4
III. 河内長野ガスグループのCSR活動に関する考え方	5
IV. Topics	29
V. 巻末言	31

I 河内長野ガス概要



1 河内長野ガス株式会社 会社概要

商号	河内長野ガス株式会社	
設立	1961年9月	
資本金	3,000万円	
売上高	28億7,809万円(2025年3月期)	
役員	代表取締役社長	吉田 顕
	常務取締役	安川 浩
	取締役	小嶋 正士
	取締役	辻 正治
	社外取締役(公認会計士)	田淵 正信
	監査役(弁護士)	吹矢 洋一
従業員数	62名(2025年4月1日現在)	
所在地	大阪府河内長野市昭栄町14-31 TEL. (0721) 53-3561 (代) URL. https://www.naganogas.co.jp	
事業内容	1. 都市ガスの供給事業 2. ガス工事の請負 3. ガス機器の販売 4. リフォーム事業 5. 液化石油ガス*販売事業 6. 電気の販売事業	



河内長野ガス社屋



河内長野ガス
マスコットキャラクター
ふらむちゃん

※液化石油ガス=プロパンガス

主要取引銀行 三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行

主要(都市ガス)供給先 河内長野市役所、大阪南医療センター、日本農薬株式会社、モリ工業株式会社

主要(LPガス)納入先 株式会社ダイドー、大阪安全衛生教育センター、大和開発観光株式会社、
社会福祉法人 生登福祉会

主要仕入先 大阪ガス株式会社、株式会社ノーリツ、リンナイ株式会社、TOTO株式会社、
クリナップ株式会社、タカスタンダード株式会社、パナソニック株式会社、
株式会社LIXIL、岩谷産業株式会社、シナネン株式会社、伊丹産業株式会社

所属団体名	一般社団法人 日本ガス協会 (近畿部会所属) 近畿ガス事業協同組合 一般社団法人 大阪府LPガス協会 TOTOリモデルクラブ クリナップ 水まわり工房 タカラスタンドード パートナーショップ YKKAP MADDOショップ Good Living 友の会 一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会 JERCO 大阪府住宅リフォームマイスター登録事業者
許認可等	建設業 大阪府知事許可 (般-29) 第142445号 二級建築士事務所 大阪府知事登録 (い) 第9624号 河内長野市排水設備工事指定業者 第376号 河内長野市給水装置工事事業者 第0082号 液化石油ガス (LP) 販売許可 27B第1701号 液化石油ガス保安機関認定番号 27A1001RA ゴールド保安認定事業者 (第一号認定液化石油ガス販売事業者) 大阪府住宅リフォームマイスター事業者登録 健康経営優良法人2025 (中小規模法人部門)

沿革 (河内長野ガス株式会社)

1961年 9月	設 立	
1962年 7月	事業開始、需要家件数 172 件	
1973年 2月	需要家件数 5,000 件	
1979年 11月	長野配管株式会社を設立	
1985年 1月	リビングセンター (旧社屋) 竣工	
4月	需要家件数 10,000 件	
11月	長野配管株式会社がリフォーム事業開始	
1988年 11月	長野配管株式会社が株式会社リビングセンター長野に商号変更	
1990年 4月	株式会社リビングセンター長野が液化石油ガス販売事業開始	
1991年 1月	ボタンエアーガス 6A から天然ガス 13A へ熱量変更作業開始	
3月	全戸 天然ガス 13A へ熱量変更完了	
9月	需要家件数 15,000 件	
1994年 2月	リビングセンター (旧社屋) 増築竣工	
1996年 9月	需要家件数 20,000 件	
12月	供給管理センター棟 (現倉庫資材棟) 竣工	
2014年 2月	エネルギーマネジメント規格 ISO50001 認証取得 (2019年3月 認証返上)	
5月	現社屋 (地域災害時支援拠点) 竣工	
2016年 7月	小口電力 (KG でんき) 販売開始	
2022年 10月	株式会社リビングセンター長野からリフォーム事業と液化石油ガス販売事業を譲受	
12月	ゴールド保安認定事業者 (第一号認定液化石油ガス販売事業者) 認定	
2024年 3月	健康経営優良法人 2024 (中小規模法人部門) 認定	
2025年 3月	健康経営優良法人 2025 (中小規模法人部門) 認定	
	需要家件数 (都市ガスメーター取り付け数) 25,064 件	
	需要家件数 (液化石油ガスメーター取り付け数) 972 件	

都市ガスの供給区域

河内長野ガス託送供給約款／
別表に定める払出エリア



供給エリア内都市ガス導管網 (m)

	2025年3月末現在
中圧A	374
中圧B	25,012
低圧本管	96,037
低圧支管	149,067

II Top Message

社長メッセージ

平素から、河内長野ガスに格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この程、河内長野ガスのCSR（企業の社会的責任）活動報告として9冊目にあたるCSRレポート2025を作成いたしました。是非、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

昨今では、各業界・事業者において2050年のカーボンニュートラルの実現、持続可能な社会を目指す動きが加速しています。都市ガス業界としても、徹底した天然ガスシフトとその高度利用を推進すると共に、水素やメタネーション等の手段を用いたガス自体の脱炭素化にも取り組んでいます。

一方、ロシアのウクライナ侵略の長期化や中東紛争の激化によるエネルギーの途絶リスクや価格の高騰、物価の上昇は、歯止めがかけられない状況が続いています。更に、アメリカのトランプ大統領が世界各国に対して高関税政策を打ち出し、世界経済に多大な影響を与えています。

このように、世界的にも目まぐるしく状況が変化する中で、河内長野ガスは今年度より新たな中期3カ年計画（'25～'27）を策定し、その基本方針を「お客さまに寄り添い、社会を支え、地域の未来をつくる」としました。地域に根差すエネルギー事業者として、これからもお客さまの安心・安全が第一であるという考えは変えず、社会・地域の環境の変化や課題に対しては真摯に向き合い、柔軟に対応することで、地域の明るい未来を創造して参ります。

CSRレポートを通じ、少しでも河内長野ガスの取り組みを知っていただけますと幸いです。引き続き皆さまのご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



河内長野ガス株式会社
代表取締役社長

吉田 顕

2025年6月吉日

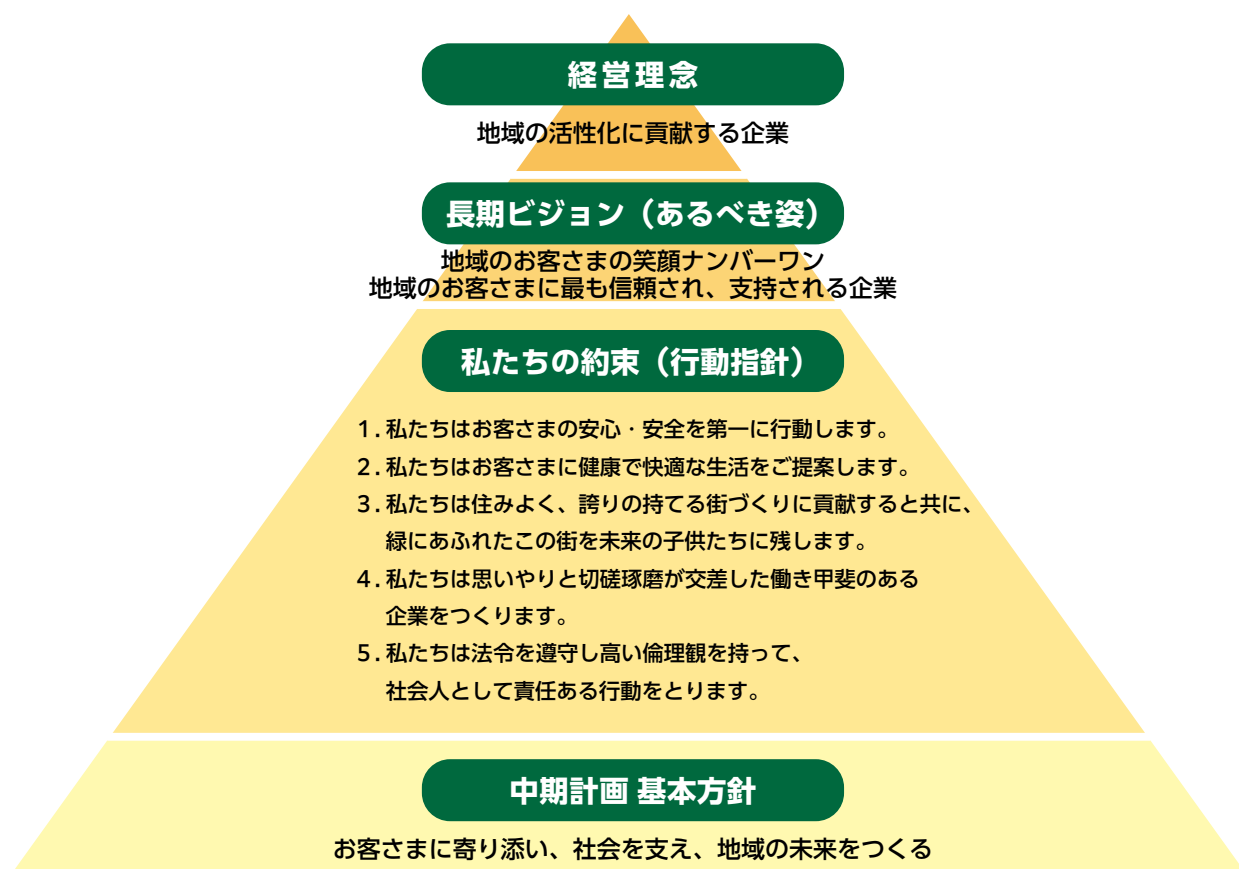
III 河内長野ガスの CSRに関する考え方と取り組みについて

河内長野ガスは、「地域の活性化に貢献する企業」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的かつ安心して安全にお使いいただくこと、リフォーム事業を通じて健康で快適な住まいを提案していくことを通じ、企業としての社会的責任を全うし、SDGsの達成とあわせて地域のために貢献して参ります。

河内長野ガス従業員の大事な行動指針である「私たちの約束」は、持続可能な社会の実現を目指し、地域の皆さまとの信頼関係を築いていくための指針となっています。

これからも河内長野ガスはお客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼されるために、コンプライアンスを一層徹底し、選択される企業であり続けたいと考えています。

1 経営理念体系



2025 年度 スローガン **さらなる地域深耕を進め、新たな価値創造に挑戦する！**

2 河内長野ガスの環境負荷軽減に向けた取り組み

2020年10月に日本政府が「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言したことで、低・脱炭素化の動きが活発化しています。カーボンニュートラルとは、二酸化炭素（CO₂）をなくすのではなく、二酸化炭素（CO₂）の排出量と吸収量を均衡させることを意味します。また、2030年度の新たな温室効果ガスの削減目標として、「2013年度比で46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続ける」との方針が示されました。

政府の方針を受け、日本ガス協会は、2020年11月に「カーボンニュートラルチャレンジ2050」を策定し、2021年6月には同アクションプランを策定しました。

さらに2025年6月に、都市ガス業界が目指す2050年の未来像を示した「ガスビジョン2050」と、その実現のための具体的な取り組みを示した「アクションプラン2030」を策定しました。

全国の都市ガス事業者は、今後、より一層、地域の分散型エネルギーの普及促進に向けた取り組み、まちづくり、低・脱炭素化、レジリエンス強化のみならず、地域内経済循環の実現を目指し、地方創生にも貢献していきます。

河内長野ガスは、行動指針である「私たちの約束」に示す「3私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。」に基づき、エネルギー供給会社として、環境への配慮の重要性を理解し、天然ガスの普及拡大による低炭素化を推進すると共に、本社社屋に省エネ、環境面の配慮を施す等、低・脱炭素化に向けて取り組んでいます。

ひろがる
カーボンニュートラル



3 私たちの約束（行動指針）

私たちの約束

1. 私たちは、お客さまの安心安全を第一に行動します。

① ガスを安全にお届けするために

私たちは、都市ガス・LPガスを供給する企業として、お客さまの安心・安全に向けた取り組みをしています。

a. 保安体制について

(a) 24時間・365日の保安体制

お客さまから等の通報（ガスが漏れている、ガスの臭いがする等）、警察や消防等に備え24時間・365日の出動体制を敷いています。



緊急車

(b) 都市ガスの安定供給と監視システム

安定したガス供給を行うため、ガス受入設備や供給区域内の各地区の供給設備にて、リアルタイムでガスの供給状況を収集し、導管を流れるガスの圧力や流量を24時間365日体制で集中監視しています。



供給管理室

(c) LPガス遠隔監視システム

河内長野ガスでは、さらなる保安の向上を目指してLPガスをお使いのお客さま宅へ遠隔監視システムの普及拡大に努めています。このシステムは、無線による通信技術を用いて、遠隔操作による緊急時のガス停止や検針を行うことができます。

2024年度には、普及率が97.0%となり、今後もより一層の保安レベル向上を目指し、普及率を拡大して参ります。



b. お客様が安心・安全にガスをご利用いただくために

(a) ガス導管の維持管理

お客さまに安全にガスをお届けするために、定期的なガス導管の漏洩調査・供給設備の点検、地震に強いガス導管への改修を実施しています。また、他企業者による道路工事（水道・下水・電気・電話工事等）でのガス管破損の防止のため、事前の協議や工事現場の立ち会い・パトロール等を行っています。



(b) ガス警報器・CO警報器の取り付け意義と取り付け状況

お客さま起因によるガス漏れ事故のほとんどは、「ガスを消したつもり」「ガス栓を閉めたつもり」「すぐにもどるつもり」等「うっかりミス」が原因となっています。ガス警報器を設置していれば適切に作動して、人のうっかりミスによる事故の防止につながります。

河内長野ガスは、ガス漏れ事故を未然に防ぐため、ガス警報器の取り付けを推奨しています。店舗等のガスの使用量が多いお客さまには、ガス警報器だけではなく、COによる中毒事故を防止するCO警報器の取り付けも提案しています。

ガス警報器は、火災警報機能付きタイプもあり、ガス漏れだけではなく、火災による被害拡大の防止にも役立っています。

●ガス警報器新規取り付け台数

年度	都市ガス用警報器		LPガス用警報器	
	台数	普及率	台数	普及率（件）
2024年度	332	40.10%	72	79.90%
2023年度	421	39.66%	41	78.70%
2022年度	311	39.77%	57	77.80%

●都市ガス用

電源式タイプ



YP-776
(壁取付用)



XW-225G
(天井取付用)

電池式タイプ



MC-325
(壁取付用)

●LPガス用

電源式タイプ



APH-40N
(単体型)



APH-32SV
(連動型)

(c) ガス設備定期保安調査

河内長野ガスでは、お客さまにガスを安全にご使用いただくため、法令に基づき、4年に1度「ガス設備のガス漏れ検査」「ガスふろがま・ガス湯沸器（給湯器）の給排気設備の調査」を実施しています。

ガスによる事故を未然に防止し、お客さまに安心してガスをお使いいただけますよう、調査にお伺いしております。

ご訪問の際にはご協力を下さいますよう、よろしくお願いいたします。



点検の様子



あんしん基礎ガイド(安全周知書面)

② 防災についての取り組み

私たちは、災害の発生に備え、河内長野市と協力関係を築く等様々な対策を実施しています。

a. 河内長野市との防災協定

河内長野ガスは、2014年の社屋の建て替えにあたり、産官民協働で平常時から「地域力」を活かす災害支援拠点づくりを目的として、2012年5月に河内長野市と締結した「災害時等における支援協力に関する協定」（防災協定）の内容を見直し、2024年5月に改めて締結し、災害時に各地から集まる復旧応援部隊のための敷地の提供等、河内長野市から支援を受けることとなりました。一方、河内長野ガスは、ショールームを災害時支援施設として提供し、また災害時用簡易トイレ（マンホールトイレ）等の資機材を河内長野市に貸し出し致します。河内長野ガスは、これからも河内長野市と連携し、地域の防災向上に取り組んで参ります。



b. 地震・災害への対策

昨今激甚化している地震・災害に対するより一層のレジリエンス（回復力、復元力）の向上を目指して、様々な安全対策を講じています。

(a) 耐震性の高いガス導管

道路に埋設されているガス導管は、中圧・低圧導管と共に耐震強度に優れた材料を採用しており、大規模地震による損傷を最小限にとどめるように対策をしています。

河内長野ガス耐震化率	99.8%	2024年度末実績
全国平均耐震化率	92.7%	2023年度末実績



ポリエチレン管への取替作業

(b) お客様宅の安全対策

すべてのご家庭にマイコンメーターを設置し、多量のガス漏れ、地震（震度5相当以上）等を検知すると自動的にガスを遮断します。

(c) 二次災害の防止

大規模な地震により被害が発生した場合は、情報を収集・集約し、迅速かつ適切な措置を実施します。その際、二次災害の防止のため、やむを得ない場合は最小限度のお客様宅に、ガス供給停止をお願いすることがあります。また、河内長野ガスの供給区域をブロック化することにより、より細かく供給停止範囲を制限できるようにしています。



ブロック化された供給区域

(d) 緊急動員体制

供給区域内で大規模な地震や台風・豪雨等による災害の恐れがある場合、若しくは発生した場合には、休日・夜間に関わらず災害対策組織を構築し、迅速な情報収集と適切な措置によりお客様の安全を守ります。

(e) 教育・訓練

河内長野市が大きな被害を受けると想定される地震災害や近年甚大な災害をもたらしている台風豪雨等の異常気象に備え、訓練を実施しています。



実技教育の様子

2. 私たちはお客さまに健康で快適な生活をご提案します。

① 快適な生活をご提案

a. お客さまの生活を快適にするリフォームのご提案

河内長野ガスは、「河内長野ガス クラッシモリフォーム」のブランドで、地域密着を大切に考え、河内長野市、富田林市、大阪狭山市を中心に、これまで以上に地域の皆さまに近い存在として、お客さまのご要望を詳細にお伺いし、これからもずっと住み続けたいと思える、快適で安心できる空間造りを提供して参ります。



河内長野ガスでは、お客さまの新しい暮らしを形にするため、有資格者のプランナーが丁寧なヒアリングを行い、図面やイメージパースを用いたご提案をもとに、入念な打ち合わせを行った後、経験豊富な工務担当者を中心に工事を進めて参ります。また、リフォーム後も心地よく暮らして頂けるよう地元ならではのアフターサービスもご好評を頂いています。様々な専門分野を持つ河内長野ガスだからこそその信頼と実績でお客さまのご要望にお応えいたします。(2024年3月末現在 延べ施工実績件数 18,700件)



施工事例

過去の受賞歴

2018年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2018 クリナップ賞
2019年12月	ジェルコリフォームコンテスト2019 近畿大会 ベストリフォーム賞
2020年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2020 プラチナ賞
2021年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2021 プラチナ賞
2023年12月	「ORCリフォームコンテスト2023」タイルを使ったリフォーム部門銅賞
2024年12月	ジェルコリフォームコンテスト2024 優秀賞受賞
2025年 1月	TOTO リンピック 2024 大阪南部地区 (伸長台数) 1位

b. お客様の快適な生活を支えるガス機器

河内長野ガスでは、寒い冬を快適に過ごすことができるガス床暖房やガスファンヒーター、毎日のお料理を楽しくするガラストップコンロ、ガスのパワーで短時間で衣類を乾燥させるガス衣類乾燥機まで、幅広いラインナップをご用意しています。

また、電気とガスのセットでおトクになるガス料金メニュー等を提案し、お客様の経済面もサポートいたします。



ガス衣類乾燥機



最新型ガラストップコンロ



ガス温水床暖房



ガスファンヒーター

c. お客様へのサービス向上を目指した活動

(a) 活動の目的

河内長野ガスは、地域のお客さまとの信頼関係を築き、継続的な関係性を構築するために、サービス業務の拡充やプラスワンサービスの展開を目的とした活動を行っています。

2025年度も引き続きお客さまの満足度向上を目指した活動に取り組めます。

● 2025年度において実現させたいこと

- ・販売したガス機器・リフォーム商材の長期延長保証の実現
- ・デジタル技術によるペーパーレスでの手続きや決済等の拡大
- ・お客さまが安心してガスをご利用できる「駆けつけサービス」の確立

(b) お客様の声の確認

河内長野ガスでは、お客さまからいただいたご意見を月ごとに集計し、社内でも共有し、業務に活かすようにして参りました。

引き続き今後も多くのお客さまの声をいただき、業務に活かしていきたいと考えています。

2025年5月、お客さまの声をお伺いするアンケート調査についてデジタル化を行いました。

② お客様の快適な生活を支える情報発信

a. 暮らしの情報発信基地「crassimo (クラッシモ)」

河内長野ガスショールーム「crassimo (クラッシモ)」では、最新のガス機器やキッチン、トイレ、浴室、ガスの安全機器等、お客様の安心・安全で快適な生活を支える商品を多数取り揃え、展示しています。



ショールーム「クラッシモ」館内



●楽しいイベントの開催

ショールームでは親子で気軽にご参加いただけるイベントを開催しています。夏のファミリーデーの特別教室では廃油を使って石けんとキャンドル作りに挑戦し、リサイクルしながら石けんができるまでの工程を体験していただきました。他にも小物づくりや子供縁日等を開催し、たくさんの方にご参加いただきました。

河内長野市商店連合会様のハロウィンイベント「街中でトリックオアトリート」にも協賛する等地域に開かれたショールームを目指しています。



イベントの様子



b. 豊富な情報発信ツール

河内長野ガスでは暮らしの情報誌「crassimo NAVI」を年4回発行しています。リフォームのお客さまへのインタビューと豊富な写真による最新設備を取り入れた事例紹介や河内長野ガスのイベント情報、クラッシモサロンのご案内、ガスを安全にお使いいただくための情報、地元で話題のお洒落で美味しいお店の紹介等盛りだくさんの内容となっています。今後は、情報誌「crassimo NAVI」をデジタル化して配信することを検討しています。

LINE公式アカウントやInstagramではお得なキャンペーンのお知らせや暮らしに役立つ様々な情報をいち早くお届けしています。ぜひお友だち登録をお願いします。



「Crassimo NAVI」



クラッシモ LINE 公式アカウント



河内長野ガス クラッシモ Instagram

3. 私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、 緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。

河内長野ガスは、エネルギーを供給する会社として、環境への配慮の重要性を理解しています。天然ガスの普及拡大による低炭素化を推進すると共に、本社工場には、省エネ、環境面の配慮が施されています。

① 環境への取り組み

a. 未来の子供たちのために河内長野ガスができること

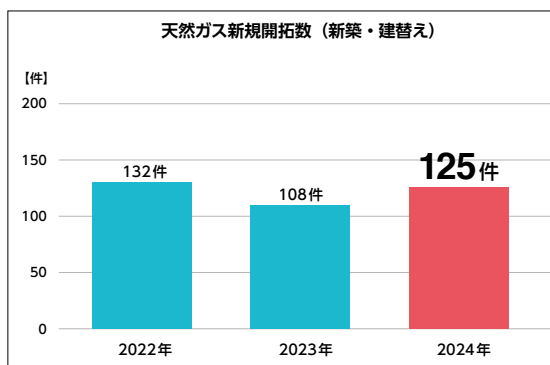
河内長野ガスは、温室効果ガスの排出が少ない天然ガスや環境にやさしいガス機器等の普及を目指すと共に、河内長野ガスが事業活動の中で使用するエネルギーや排出される温室効果ガス等を把握することを通じて、環境に優しい企業を目指します。また、社内で使用する電力を太陽光発電やガスコージェネレーションシステムを活用しまかっています。

河内長野ガスは、これからもお客さまの明るい未来のため、環境負荷軽減に取り組んで参ります。

b. クリーンエネルギー天然ガスの普及拡大

河内長野ガスが供給する都市ガスの主原料である天然ガスは、燃焼時において、地球温暖化の原因物質である二酸化炭素（CO₂）の排出量が、石油や石炭に比べて少なく、再生可能エネルギーとベストミックスで用いられるエネルギーであり、また、世界各地に豊富に埋蔵されているため、安定供給しやすいという利点があります。

河内長野ガスは、クリーンエネルギーである天然ガスの普及拡大に努めています。2024年度は、125件の新築や建替えされたお客さまに天然ガスの供給を開始いたしました。

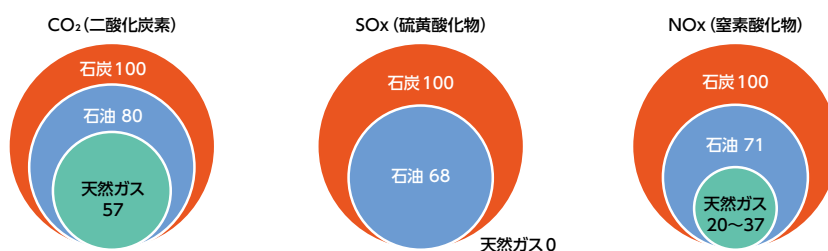


○天然ガスの環境性

天然ガスは、化石燃料のなかで、燃焼時のCO₂排出量が最も少ない「クリーンエネルギー」です。

河内長野ガスは、環境にやさしい天然ガスを普及させることで、CO₂排出量削減に貢献しています。

化石燃料の燃焼生成物などの発生量比較（石炭を 100 とした場合）



・IEA「国際エネルギー機関」[Natural Gas Prospects to 2010] (1996年)
・「火力発電所大気影響評価技術実証調査報告書」(エネルギー総合工学研究所 1990年3月)

c. 環境にやさしいエネルギー効率の高いガス機器（エネファーム、エコジョーズ等）普及拡大

エネファーム、エコジョーズの普及の意義

家で発電できるエネファームなら、遠方の発電所から送電される際の電力のロスがなく、発電時に生じる排熱を給湯等に使えるので、電気や熱のエネルギーの約85%～97%を利用でき、CO₂排出量を1年間に約1.3tも削減できます。（メーカー、種類により異なります。）

また、停電時には自立運転する機種もあり、いざという時も安心です。

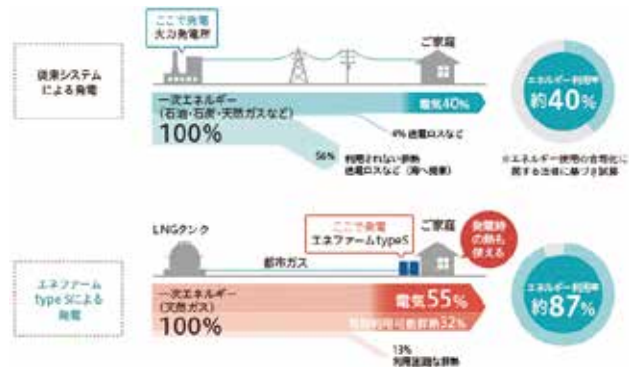
エコジョーズは従来型のガス給湯器と比べCO₂排出量を約13%削減できます。

地球温暖化の一因となるCO₂排出量を従来に比べ大幅に削減します。



マイホーム発電
「エネファーム」

エネファームのエネルギー利用率について



●エコジョーズ、エネファームの販売台数

年度	エコジョーズ		エネファーム	
	台数	前年比	台数	前年比
2024年度	330	126%	21	63%
2023年度	262	76%	33	103%
2022年度	343	191%	32	152%

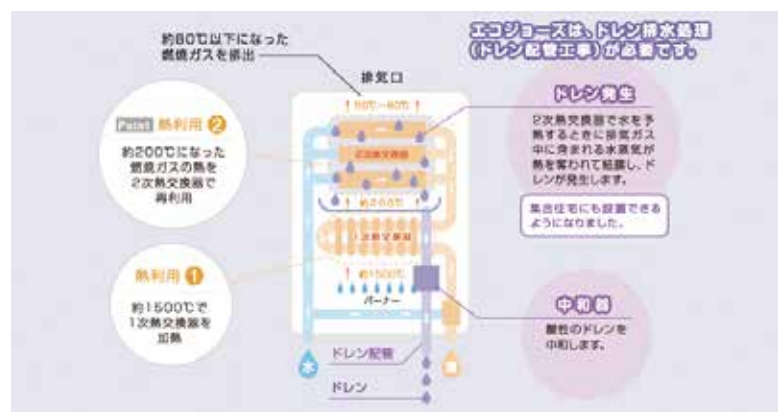
2024年度はエコジョーズやエネファームの販売を通じて
年間約125t・CO₂の排出を削減しました。

これは、杉の木約8,960本が一年に吸収するCO₂と同じ量です。



省エネ給湯器
「エコジョーズ」

省エネ給湯器エコジョーズのしくみ



d. 省エネ設備（節水型商品）の普及拡大

省エネ設備には、節水型トイレ・節水シャワー等が挙げられます。これらの商品を使用して頂くことで節水・省エネになり家計の経済面をサポートすると共に、環境への負荷の低減につながります。

① 省エネ設備の普及の意義

地球に様々な影響を与える温室効果ガス（CO₂）の発生を抑制するため、クラッシュモリフォームは、省エネ設備を提案しています。一人でも多くの方が省エネ設備を採用することで、温暖化防止とお客さまの健康で快適な生活を支えていきたいと考えています。

② 河内長野ガスが提案する省エネ設備

●節水型トイレ

従来のトイレは1回流す毎に約13ℓの水を流していました。最新のトイレに入れ替えると使用する水の量は約5ℓとなり、8ℓもの節水になります。また、フチのないものや表面加工により、お手入れも楽になります。

省エネ設備（節水型トイレ）販売台数（台）

	節水型トイレ
2024年度	86
2023年度	70
2022年度	98

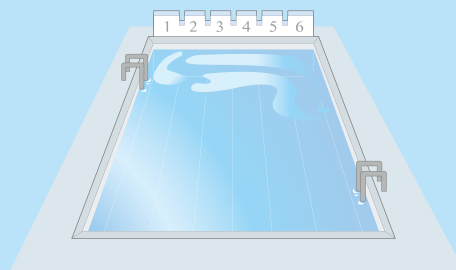


●節水シャワー

シャワーヘッドの穴を小さくしたり、穴の数を少なくしたりといった仕組みで、通常よりも水の使用量を減らすものや、水に空気を含ませることで水の一粒一粒を大粒化させるもの等があり、従来のシャワーに比べて約35%の節水ができます。



2024年度は、節水型トイレ（便器）の販売を通じて、年間439万ℓの節水に貢献できました。これは、25mプール9.1杯分に相当します。



e. 省エネ・環境性に配慮した本社社屋

建築環境総合性能評価 (CASBEE) ※最高Sランクを取得した本社社屋は、2014年に「コージェネ大賞」民生用部門 優秀賞、「BCAOアワード2014」企業防災部門 企業防災賞、「第8回大阪サステナブル建築賞」優秀賞を受賞いたしました。

※建築環境総合性能評価システム (CASBEE) とは、建築物の環境性能で評価し格付けする手法で、省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステムです。

(a) 自家発電

社屋屋上に20kwの太陽光パネル及び35kwのガスコージェネレーションシステム2台を設置し、自家発電により社屋で使用する全電力の約30%をまかなっています。



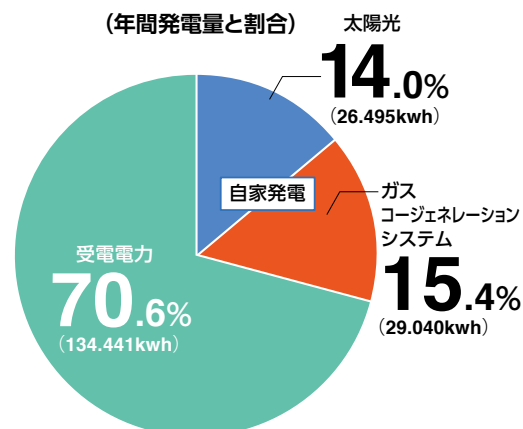
太陽光パネル



ガスコージェネレーションシステム

2024年度自家発電状況

(年間発電量と割合)



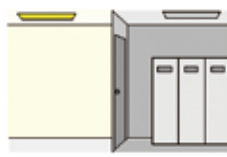
(b) 省エネを実現する機能

社屋の外壁にはひさしを設け、視界を確保しながら日射を抑制し、室内への熱の流入を防いでいます。廊下、トイレ、更衣室には、人感センサーを設置し、人を感知すると照明を点灯、人がいない場合は自動的に照明を消灯することで、省エネを図っています。

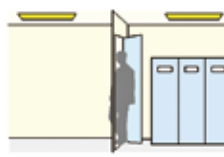
2021年度からは社屋の照明(約280台)をLEDに取り替え、CO₂の排出量が年間8.9t削減できました。



ひさしによる日射抑制



不在時照明OFF

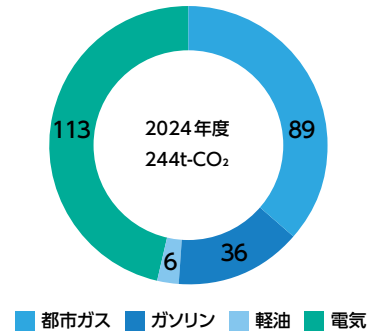


在室時照明ON

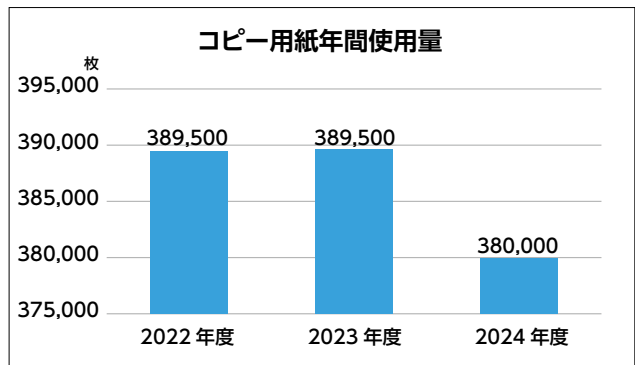
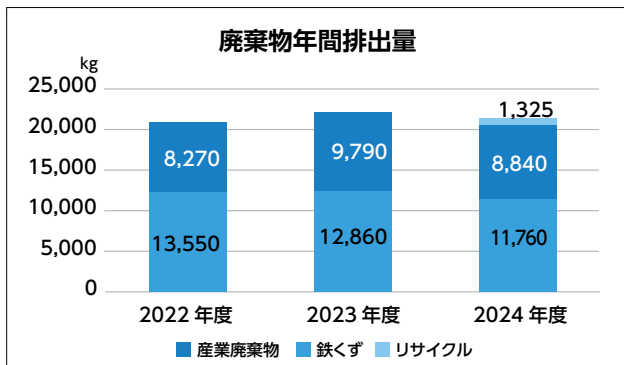
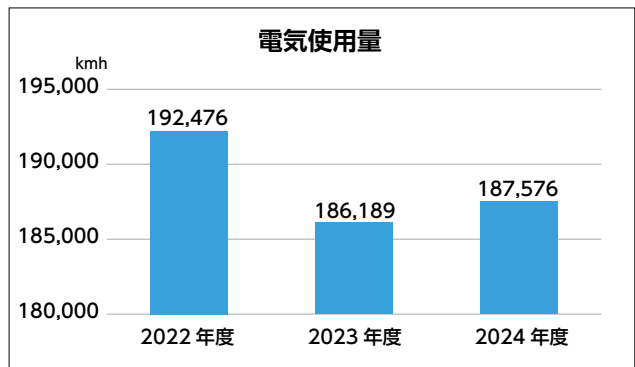
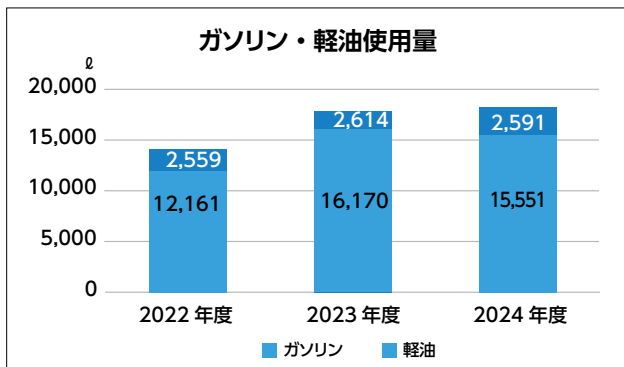
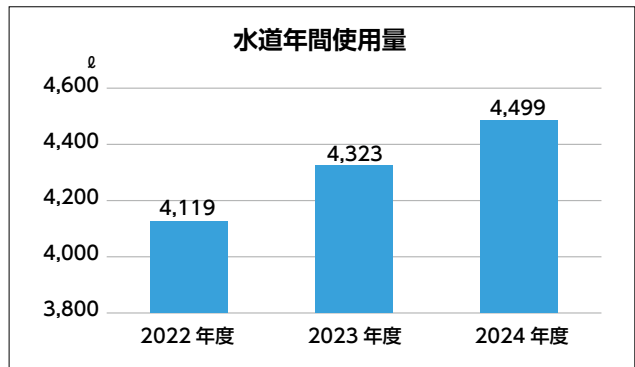
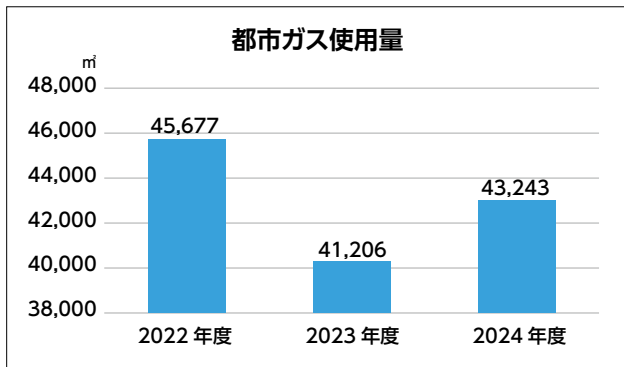
f. 事業活動において使用するエネルギーやCO2排出量・廃棄物

事業活動において使用するエネルギーやCO2排出量、廃棄物排出量の把握を通じて、環境負荷軽減に向けた取り組みをしております。

河内長野ガスにおける
温室効果ガス排出（CO2換算値）



【参考】エネルギー使用量・廃棄物排出量等の実績



g. 事業活動を通じた河内長野ガスの取り組みについて

河内長野ガスは、将来に向けてCO₂排出量や廃棄物排出量等の削減を目指して参ります。河内長野ガスは、できることから着手し、環境負荷軽減に取り組んで参ります。

●2025年度において取り組みたいこと

□主にお客さまのフィールド

- (a)天然ガス新規開拓を通じたCO₂排出量削減
- (b)環境にやさしいエネルギー効率の高いガス機器の販売を通じたCO₂排出量削減
- (c)節水トイレの販売を通じた節水によるCO₂排出量削減

□主に河内長野ガスのフィールド

- (d)自家発電によるCO₂排出量削減
- (e)IT活用・デジタル化の推進による紙使用量抑制
 - (例) 広告等のWebやSNSからの発信
- (f)長寿命化等による廃棄物削減等による環境負荷軽減
 - (例) サーバーの利用期間延長、法面草刈の回数削減
 - エアコンプレフィルターのオーバーホール、清掃の回数削減



h. その他の取り組み

(a) グリーン購入

文房具や備品の購入にあたっては、環境に配慮した物品を購入すること及び環境への取り組みに熱心な事業者から購入することに努めています。

② 地域貢献への取り組み

河内長野ガスは、地域の将来を担う子供たちの健やかな成長に寄与することや地域団体との連携により地域の発展に貢献することを目的に、長年にわたり地道な活動を行っています。

a. 次世代育成

職場体験学習

河内長野ガスは、学びの場として、中学生の職場体験学習の受け入れをしています。

●2024年度の実績

- ・東中学校 2年生(2名)
- ・千代田中学校 2年生(2名)
- ・加賀田中学校 2年生(2名)



職業体験学習の様子

b. 地域イベントへの参加

河内長野ガスは、地域活性化のため、地域が主催するイベントに参加しています。2024年5月19日、河内長野ガスは、河内長野市主催の市制施行70周年記念事業「つながるフェス in 河内長野」に出展しました。



イベントの様子



(b) 近隣清掃活動

河内長野ガスは、河内長野市の掲げる市と民間企業等が協力して地域に愛されるきれいな道路づくりや地域の環境美化に取り組む「河内長野アダプト・ロード・プログラム」に賛同し、「アダプト・ロード・プログラム」と名付けた本社周辺の歩道の清掃活動（街路樹の落ち葉拾い、雑草除去等）を全従業員で定期的の実施しています。

この永年の取り組みが評価されて河内長野ガスは、2023年11月の河内長野市市民表彰式にて市長表彰を受賞しました。

●過去3年間の実績

	回数	実施日
2024年度	8	4月12日、5月17日、7月5日、10月18日、11月19日、12月17日、2月7日、3月7日
2023年度	9	4月14日、5月12日、6月16日、10月20日、11月14日、12月15日、1月26日、2月16日、3月19日
2022年度	9	4月8日、5月10日、6月7日、7月5日、10月7日、12月6日、1月20日、2月17日、3月10日



近隣清掃



4. 私たちは思いやりと切磋琢磨が交差した 働き甲斐のある企業をつくります。

私たちは、従業員一人ひとりが仕事を効率化して、生産性をあげ、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境をつくっていきたいと考えています。

① やりがいのある職場

a. 人材育成

人材育成の多くはOJTと言われていています。河内長野ガスも例外ではありませんが、OJT以外にも多くの仕組みやメニューを揃えています。

(a) 従業員教育

入社した従業員への教育のほか、社外講師による従業員階層別研修（マネジメント・中堅・ベーシック）も用意されています。これ以外にも各種の社外研修が案内されます。

(b) 資格取得支援制度

全社及び各事業を展開するに際して必須となる資格のほか、自己啓発として資格取得に取り組む場合は、会社がその費用を一部負担する等の支援をおこなっています。

(c) 評価制度

各部署の事業計画・方針に基づいて各従業員が半期毎に上司と面談した上で、目標シートを作成し、業務を遂行しています。そして半期毎に目標達成度合いに応じて評価がなされます。

② 働きやすい環境

a. 働き方改革

従業員がより働きやすい職場環境を目指し、多様な取り組みを展開しています。これらが社外からも評価され、2024年度から継続して健康経営優良法人に認定されています。

(a) 有給休暇取得の推進

有給休暇取得の推進は、仕事と生活の調和が実現し、働く意欲の増進に繋がると考えています。業務に支障が出ないよう部署内で調整し、積極的に取得することを促しています。

b. 情報の共有化・コミュニケーション促進

(a) 社内報による情報発信

2022年10月から全従業員が社内の情報を共有できるように各部署の活動実績や予定、月1回の全社朝礼の際の従業員のスピーチ等を社内報として取りまとめて月1回発信しています。従業員同士をつなぐコミュニケーションツールとしての役割を担い、職場の話題作りに一役買っています。



社内報

③ 安全衛生への取り組み

a. 安全衛生委員会

月1回開催される安全衛生委員会では、部署の垣根を越えた安全面・衛生面に関する情報共有、従業員の要望・意見を集めて議論する等、よりよい職場環境づくりを目指し活動しています。

また、2022年度より、委員会では毎月必ず職場環境や自動車の運転、健康面等に関する危険予知活動を実施しています。委員会後は、委員会のメンバーが活動内容をそれぞれの部署に持ち帰り、情報共有・意見交換することで、事故の未然防止に努めています。

b. 協力会社合同安全大会

河内長野ガスは1年に1回、安全大会を実施し、各事業部の協力会社（メーカー、商社、工務店、設備業者）に参加いただいております。

安全大会では現場での危険箇所・危険行為・道具の使用方法・工事中の安全行動、現場マナー等について研修を行っています。

また、外部講師による個人情報取り扱いやコンプライアンスの講義を行っています。



安全大会の様子

c. 従業員の健康に配慮した取り組み

従業員の健康に配慮した取り組みとして、全従業員が受診する健康診断では、通常より検査項目を増やし、希望者には自由にオプションを追加できるようにしています。また、インフルエンザの予防接種を希望者に対して実施しているほか、ストレスチェックも行っています。

さらに、就業場所における受動喫煙防止への取り組みとして、2025年4月より河内長野ガスの敷地内は全面禁煙となりました。

●ストレスチェックの受検率

2024年度	2023年度	2022年度
94%	92%	97%



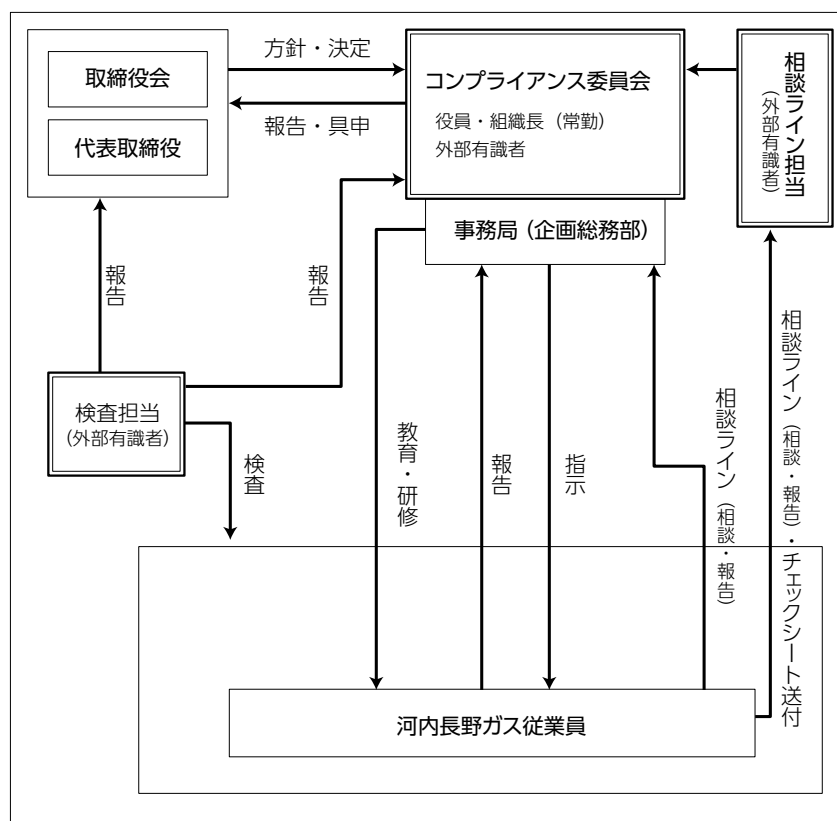
5. 私たちは法令を遵守し高い倫理観を持って、 社会人として責任ある行動をとります

① 法令の遵守と高い倫理観を持った活動

河内長野ガスは、全ての役員及び従業員が、コンプライアンスを確実に実施することで、地域の皆さまからの信頼を得る健全な会社を目指しています。また、コンプライアンスを、法令遵守だけでなく、社会の一員としての良識ある行動までを含む企業倫理の観点から捉え、お客さま、取引先さま等全てのの人々と公正な関係を維持し、信頼をより強固なものとすることに努めて参ります。

a. コンプライアンス委員会

河内長野ガスでは、定期的に、企業法務の専門家である追手門学院大学 経営学部長 水野浩児教授をコンプライアンス担当顧問としてお迎えして、コンプライアンス委員会を開き、会社全体のコンプライアンスに関する事案の対策検討、情報共有、意見交換を行っています。



b. コンプライアンスアンケート

全従業員を対象にしたコンプライアンスに関するアンケート調査を定期的実施し、コンプライアンスに関する問題の早期発見に繋げると共に、全従業員のコンプライアンスへの意識付けをしています。

c. コンプライアンス研修会

定期的にコンプライアンス研修会を実施しています。研修会では、その年のタイムリーなテーマを取り上げ、従業員、協力会社の意識付けを徹底しています。

また、全従業員には、いつでもコンプライアンスについて確認できるように、コンプライアンスマニュアルが配布されています。



コンプライアンスマニュアル

d. コンプライアンス相談ライン

河内長野ガスでは、コンプライアンスに関する相談及び報告制度として、社内だけでなく、社外（水野教授）に直接相談できるコンプライアンス相談ラインを設置しています。



IV Topics

トピックス

2024年度の河内長野ガスのトピックスについて紹介します。

(1) 健康経営優良法人2025 (中小規模法人部門) に認定

2025年3月、河内長野ガスは、経済産業省と日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2025 (中小規模法人部門)」に認定されました。

昨年度に続き2年連続の認定となります。



(2) 2024年度「省エネコミュニケーション・ランキング制度」において四つ星を獲得

2024年12月、河内長野ガスは、経済産業省資源エネルギー庁が実施する、2024年度「省エネコミュニケーション・ランキング制度都市ガス小売事業部門」※1において、四つ星(★★★★)を獲得いたしました。



※1 詳細については左記のQRコードをご参照ください。

(3) ジェルコリフォームコンテスト2024で優秀賞を受賞

2024年12月、河内長野ガスは、日本リフォーム産業協会(通称ジェルコ)近畿支部が、主催するジェルコリフォームコンテスト2024で、デザイン部門にて優秀賞を受賞しました(応募数73社)。



(4) ガス給湯器のリサイクルを通じた貢献活動を開始

2024年12月、河内長野ガスは、ノーリツのグループ会社であるリハーツを通じて、給湯器のリサイクル事業に協力する取り組みを始めました。リハーツは障がい者福祉施設にガス給湯器の分解を委託し、国内素材メーカーに売却しています。

この取り組みにより、河内長野ガスは①社会への貢献(障がい者の就労機会創出)、②地域への貢献、③環境への貢献(産業廃棄物の削減)をします。



(5) 「Good 安否確認賞 2024」近畿ブロック優秀賞を受賞

2024年11月、河内長野ガスが採用している安否確認サービスを運営するトヨクモが実施する「安否確認サービス2全国一斉訓練」において、一斉訓練の通知に対する回答率、回答速度が特に優れた事業者として、河内長野ガスが近畿ブロック273社の中から優秀賞を受賞しました。



V

卷末言

河内長野ガスはエネルギー供給事業者として2050年のカーボンニュートラルの実現に取り組んでいます。近年、持続可能な社会を目指す動きが加速していますが、河内長野ガスも時代の変化に遅れないように組んでいます。河内長野ガスが、環境への配慮の重要性を理解し、低・脱炭素化に向けて取り組んでいることは、誇らしい活動と認識しています。

河内長野ガスの事業活動の中で使用されるエネルギーや排出される温室効果ガスなどを把握することを通じて、環境に優しい企業への取り組みを継続しています。さらに、社内で使用する電力を、太陽光発電やガスコージェネレーションシステムを活用してまかなっているなど、自ら環境負荷軽減に取り組んでいます。

一方で、河内長野市と連携し、地域の防災向上にも取り組み、エネルギー会社としての役割を全うしています。

このCSRレポートでは、「企業の社会的責任」を意識して河内長野ガスが取り組んでいる様々な地域貢献活動についてまとめております。

近年、インフレの進行や歴史的な円安による資源価格の高騰が続いており、地域の皆さまの生活や事業活動を取り巻く経済状況は依然として厳しい状況にあります。このような状況下だからこそ、地域のライフラインを支えるインフラ事業者である河内長野ガスへの期待はますます大きくなっていると河内長野ガスは真摯（しんし）に受け止めています。

そのため、河内長野ガスには、お客さまの「笑顔」と「信頼」を守るため、安全で安定したエネルギーの供給はもとより、省エネルギーに関する情報提供や新たなサービスの開発など、「+α」の付加価値を感じていただける行動が求められます。河内長野ガスは、これからも地域の皆さまとともに歩み、新たな価値を創造し、提供できる企業となることこそが、CSR（企業の社会的責任）を果たす道であると確信しています。

これからも、河内長野ガスは地域社会になくてはならない存在であり、地域の皆さまに信頼され続けることを願っています。

追手門学院大学 経営学部学部長 水野浩児教授



 Kawachinagano Gas
河内長野ガス株式会社